



## へ性オーナーが ふる自然食品店

美しく魅力的なマクロビオ・タニエラは、自然食品店「JUNA」のオーナー。化学を専攻するも、勉強す化学の世界に疑問を感じ、の中で、久司道夫先生の著「桜沢理論」に共鳴。後にトクロビオティックの指導者Mafarozzo氏のもとで二年マクロビオティック料理の研修をう、四年前に同店を開きま

んな陰は微塵もうかがわせないほど、明るく優しい客との対応や料理の手際の上さに、「己が信ずる道を歩む人の持つ輝きを見たように思いました。そんな彼女を支え手伝う叔父と叔母、それとイタリア第一の自然食品製造会社「K1」の代理販売会社に勤める同世代の親戚David Viano、それに彼女に信頼を寄せる客や友人たちに囲まれながら、いつの日か両親が分かってくれるのを待っている」と語る彼女に、励ましのひと言を口にせずにはおれませんでした。

下町にある「MEZZAJUNA」は、間口約二間と決して大きい店ではありませんが、ほとんどひと通りの自然食品は手に入るほか、何よりも彼女手作りの玄米すし、パン、ケーキ、お惣菜などが目玉商品のようでした。Davidさんによれば、彼女の夢は近い将来マクロビオティック・レストランを開店することだといっています。



マクロビオティック料理の普及に情熱を傾ける自然食品店の若きオーナー、ダニエラさん



トリノのマクロビオティック料理の指導者M・マファラッソさん(右)と大手自然食品販売会社に勤めるD・ヴィアーノさん(左)

そのほか訪れた自然食品店は、創業二十五年とトリノで最も古く、マクロビオティック料理の講習も行っているMimmo Mafarozzo氏の「ALIMENTI NATURALI」、女性二人で切り盛りしている創業十年の「Mimmo Digi」、それに労働組合が失業対策事業で始めた「COMP」、スイス系のチェーン店でトリノに三店舗を持つ「BUTTEGA NATURAL」の一店の合計五店舗です。とくに最後の二店舗はスーパー並みの広さを持ち、食品のほか天然素材の衣類まで販売しています。

イタリア第一の「K1」の本拠地とあって、自然食品店の数は中心街だけで約六十、郊外を含めると三百